

2023-2024年度
上野東ロータリークラブ クラブスローガン「三十九の人
三十九の場をしめて
例会の始まらんとす」

週報

WEEKLY REPORT 2023-2024

事務所 三重県伊賀市西明寺2756-104 ヒルホテルサンピア伊賀内
TEL 0595-24-4650 FAX 0595-24-4656例会 毎週木曜日 12:30点鐘 第3・第5週例会 18:00点鐘
ヒルホテルサンピア伊賀 TEL 0595-24-7000

2010/No.27

URL: <http://www.ict.ne.jp/~u-eastrc/> e-mail: u-eastrc@ict.ne.jp

本日の例会 第2011回 2024年2月8日(木)

開会点鐘 12:30
RCソング『我らの生業』・『サボテンの花』
ゲストのご紹介・ビジターのご紹介
食事の時間
出席報告・会長の時間・幹事報告
ニコニコボックスの報告・委員会報告・同好会報告
ロータリーの友読みどころ
本日の行事「ウクライナを知る」浅井絵利香様
閉会点鐘 13:30

前回の例会 第2010回 2024年2月1日(木)

開会点鐘 12:30
国歌斉唱『君が代』・『奉仕の理想』
ゲストのご紹介・ビジターのご紹介
米山記念奨学会奨学金贈呈
食事の時間
出席報告 張茜茜会員 86.67%
会長の時間・幹事報告・ニコニコボックスの報告
委員会報告・同好会報告
本日の行事「地区D.E.I.推進・クラブ研修リーダーセミナー報告」
(小林会長エレクト・伊藤会員)
閉会点鐘 13:30

米山記念奨学会奨学金贈呈

中井委員長

張さんの送別会を3月に開催したいと思います。

その際は、皆様宜しくお願いします。

張茜茜さん 皆さんこんにちは、残り少ない時間を大切にします。宜しくお願いします。



ポール・ハリス・フェロー受賞式

三山委員長 中尾会員、東会員



『会長の時間～平和構築と紛争予防月間に因んで』 ～ アラビアのロレンスは泣いている ～

2月は平和構築と紛争予防月間であります。RIはポリオ撲滅と並んで紛争の予防及び解決も重点目標として取り組んでまいりました。身近な所では各クラブはポリオの撲滅に関しては財団部門を中心とした基金活動を通じて支援をしておりますが、平和構築や紛争予防となる課題がグローバル過ぎて、なかなか支援を実感できません。

世界には至る所で様々な紛争があり、直近では周知のように、ウクライナ紛争とガザ地区の紛争が残念ながら今現在も続いております。一つの紛争にフォーカスしてみましょう。ガザ紛争の背景には長い歴史があり複雑です。大国イギリスのアラブ人とユダヤ人に対する二枚舌外交に端を発しているように言われています。第一次世界大戦時、現在の中東地域はオスマン帝国（現在のトルコ共和国）の支配下でありました。イギリスは石油利権を獲得するために中東地域のアラブ民族を支援しオスマン帝国からの独立を約束した。しかし、その裏側で、世界に湧き上がっていたユダヤ人国家をその地に建国するという運動（シオニズム運動）に乗じてユダヤ人も支援するという二枚舌外交を展開していた。現地でこの画策に奔走していたのが、トーマス・エドワード・ロレンスというイギリスの軍人でありました。戦後、ロレンスはその功績から祖国の英雄として称えられましたが、ロレンス本人はアラブ人への所業を恥じて悩み続け心を病んだと言われております。しかし、その結果オスマン帝国は崩壊し中東地域にユダヤ人国家イスラエルが建国されました。これを契機として、アラブ人とイスラエルとの長きにわたる紛争が始まったのであります。こういった根強い対立の構図と石油利権も絡んで百年以上経った現在も罪もない人々が命を落とす悲惨な戦争が続いているのであります。この対立を治めることが容易でないことは歴史が物語っています。

しかし、ロータリーは人道的組織の面としては平和構築は重要な使命であると考えます。足元の地域社会の平和構築に人々が手を合わせればその変化が世界的な広がりを生むと信じています。またロータリー的な平和貢献活動、開発途上国への奉仕プロジェクトや平和フェロー、奨学生への支援を通じ貧困、差別、民族間の衝突など紛争の根底にある諸問題に取り組むための行動を興しています。そう考えるとグローバル過ぎません。そういった組織に我々上野東RCは所属しているのです。

奉仕部門 中里部門長

1月27日の講談ライブ、会員の皆様、ご家族の皆様のご協力のおかげで無事終了することが出来ました。ありがとうございます。

継続事業といたしまして第2回上野東RC3月3日(日)に開催、2日に準備いたします。皆様のご協力お願いいたします。

なお、例会変更の承認を得て3月3日(日)8時点鐘です。



幹事報告 山森副幹事

本日の理事会にて以下の事項が承認されました。

- ・3月プログラム。
- ・第2回上野東RCカップの承認。
- ・観梅例会の承認。
- ・上野・上野東RC夜間例会の承認
- ・事務所パソコン修理。



能登半島沖に対する義援金募集為、BOXを回しますのご協力お願い致します。

先日開催いたしました講談ライブの新聞記事を掲示しておりますのでご覧ください。

3月度プログラム 松本委員長

3月3日(日) 移動早朝例会 点鐘8時

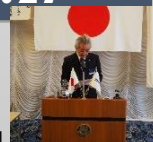
終了後「第2回U-9 RCカップ」

3月14日(木) 移動観梅例会

例会場 月ヶ瀬見晴らし茶屋

3月21日(木) 合同夜間例会 18時 ホスト上野東RC

3月28日(木) 国際奉仕「水と衛生補助事業」の実現
地区国際奉仕委員会



ニコニコボックス報告 東委員長

長谷川会長 伊藤ロータリー情報委員長、小林エレクト
本日の研修報告ヨロシクお願いします。

山森副幹事 先日の講談ライブお疲れ様でした。

中井会員 1/24日吉鶴さんが上野、菅原神社の募金のお参りに来られました。

皆様にお会いできず申し訳ありませんとの事です。

伊藤会員 本日、卓話です(セミナー)よろしく
お願い致します。

中尾会員 1/27(土)ポリオご協力ありがとうございました。

南会員、出後会員、宮田会員、小林会員

伊藤さん卓話ヨロシクお願いします。

神戸会員 伊藤さん卓話宜しくお願いします。

中里会員 講談ライブ協力ありがとうございました。
鈴木会員 講談ライブ出席して頂いた方ありがとうございました。

三谷会員、子日会員 今日は何も思い浮かびません。
ある人につかりました。

三山会員 早退のお詫び・・・

平井会員、神崎会員、宮岡会員

ニコニコボックスに協力します。

前田会員 「講談ライブ」移動例会欠席のお詫び。

東会員 移動例会欠席のお詫び



本日合計20,000円



2023年D.E.I推進セミナー報告 小林エレクト

第2630地区D.E.I推進小委員会主催のセミナーが、12/2(土)13時より岐阜グランドホテルにて開催されました。幹事とエレクトが参加しました。野原D.E.I推進委員長から、特別講演「多様性社会とサステナビリティ」の講師である(株)beイノベーションの喜多結衣様の紹介がありました。喜多氏はいわゆるトランスジェンダーで、2年前に性転換をし、現在は女性として活躍されているかたです。今は総合流通事業に一本化し、岐阜市に本社を持っています。ここで改めてD.E.Iについて少々解説します。

D=ダイバーシティ：多様性、E=エクイティ：公平性、公平と平等は似たような言葉ですが、全く異なる意味です。例えば高さ150cmの塀があり、塀の向こうを眺めたいのですがAさんは身長180cmなので見られます。Bさんは150cm、Cさんは120cmで見られません。

そこで平等に30cmの台を与えると、Aさんは210cm、Bさんは180cmで塀の向こうを眺められますが、Cさんは150cmで見られません。公平ならばAさんには台は必要がなく、Bさん30cmの台を1つ与えると180cmとなりAさんと同じ目線になり、Cさんには台を2つ与えると180cmとなり3人が公平となる訳です。公平と平等では意味が全く違うのです。I=インクルージョン：包括性の3つから成り立ち、わかりやすく言うと「あらゆる人が公平に扱われ、また尊重され、組織・社会において受け入れられること。」で、この状態を目指すこと、またはその取り組みのことを指します。

性別や年齢、人種、宗教、性的志向などの違いによって不当・不利な扱いをしない、されない状態です。私自身、ダイバーシティが耳慣れない言葉だったので、少し調べてみました。元々は1960年代の米国の公民権運動(人種・女性差別撤廃運動)が盛んだった頃に使われ始めた言葉で、ラテン語のdi+verseが語源で、ばらばらにいろんな方向を向いているという意味があるそうです。そして、1980年代にやはり米国で、多様な人材を組織内で有効活用するための人事戦略として、D.E.Iの考え方が広まりました。今回のセミナーの目的は、ますます多様化する社会環境に、ロータリーが今後どのようにかわって行けば持続的に発展していけるのか、すなわち会員増強に繋げていけるのかを模索し、ヒントを得ることだったと思います。

喜多氏のお話して興味深かったのは、多様化社会を受け入れようといっても何でもあり、制約なしではない。また、少数派を尊重することは、多数派が我慢をしたり、無理をして合わせることでない。立場や価値観が異なる者同士がどうしたら共存できるのかを、ちょっと視点を変えて気軽に話し合うことが肝要であるとおっしゃった点です。セミナー後半は、参加8クラブの代表が「増強につながる多様性について取り組んでいること」を発表しました。歴史あるクラブほど女性会員お断りの保守的傾向があるようで、発表者の中にはこれも多様性と捉えて良いのでは?と発表したクラブもありました。

女性活躍社会とは倫理的にジェンダー不平等を解消することだけが目的ではなく、特に日本の場合は、少子高齢化による人材不足で縮小していく社会経済を救う道は、ある意味、女性の登用しかないのが本音だからです。ロータリーにとっても、女性会員の増加は今後、必須のテーマではないでしょうか。

最後に、刃田パストガバナーの講評の言葉を紹介します。「RIがD.E.Iを推進して行く過程で、ともすれば“何でもあり”で出入り自由になり、ロータリーに対する愛着や誇りが薄れ、結果的に会員は減少した。時代に合わせて変化していくことは大切だが、柔軟性をはき違えてはいけない。」とおっしゃいました。私もこの意見に賛成です。守るべき伝統と規律、その上に新たな仕組みや価値観を皆で作っていくことが大切なのではないかと考えています。みなさんは、D.E.Iをどのように考えますか?

「クラブ研修リーダーセミナー報告」 伊藤クラブ研修リーダー

1月27日開催

講演者 伊勢中央RC 株式会社安藤塾 安藤大作氏「日本の青少年現状このままでいいの?」

について報告頂きました。

